

Thema 暮らしの実現に必要な『環境』を考える

1. 必要な環境・状態とはなにか？



定義

自分たちが思い描く理想の暮らしのシーンを実現するためには、『どんな場所？』で『何が必要？』で『どんな状態？』なのか！？

STEP1

●理想のシーンを振り返る

タイトル	いろんなプロに仕事のことを教えてもらえて、将来の夢がふくらむまち
私は	将来、どんな大人になろうか悩む中学生
暮らしのシーン【いつ(季節や時間など)・どこで・誰と・何をしている】	です。
私に学校帰りいつも立ち寄るスペースがあります。車やバイクで通らなくても、地域の自動販売機やコンビニが揃ったカフェみたいな場所です。大きな階段を登って中がせむしの階段です。階段の途中には、有名な建築家さんの彫刻が飾られていたり、友達のお父さんとお母さん、70才を過ぎた場所のおじいさんおばあさんがお仕事をしています。	
このスペースで自習している、いろんな大人の人と話をしている、読書をしている人やプログラムを行っている人など、仕事している様子を見たり、笑顔が溢れています。仕事の休憩場所にもなっています。いろんな働き方があるのが大好きで、自分の将来の働き方を考えています。	
使用したトレンドカードと補足説明(あれば)	(交通インフラ) 次世代モビリティの拠点が駅周辺の中心となる(働き方) 定年がない(経済) 別荘住宅・土地の価格が低下している



どのような主体が？ いつ？ 誰と？ 何をしている？



STEP2

●実現するための『環境』を考える

【ワークシート】	
場所：〇〇で	
暮らし方：理想の暮らしのシーンを 実現したい！	
環境：〇〇のある	
状態：〇〇な場所 が必要です。	



どんな場所で？ どんな環境が必要で、どんな状態なのか？

Thema 暮らしの実現に必要な『環境』を考える



1. 必要な環境・状態とはなにか？

定義

自分たちが思い描く理想の暮らしのシーンを実現するためには、『どんな場所？』で『何が必要？』で『どんな状態？』なのか！？

〇〇がある

<空間のイメージ>

①空間の広さ

公共施設の敷地に対する空間の広さ

②必要な施設

理想の空間を得るための必要な施設

③空間改善点

現況空間から改善すべきもの



オープンカフェとして使える空間がある

〇〇な状態

<状態のイメージ>

①人の属性

少人数で落ち着いて休めるような

②活動の種類

友人たちと談笑交流が生まれる

③空間の特徴

日差しが温かい
声が聞こえる
緑を感じる



友人たちと落ち着いて談笑できるような

第3回まちづくりワークショップのまとめ

A team 理想の暮らしができるまち(環境)

理想の暮らし 柏原市にしかない自然を堪能できるまち

主人公 このまちに住むアルバイト生活を送る若い男性

情景 日常的に柏原市の豊かな自然を感じ、バスや電車の待ち時間も有意義に滞在できる空間があり、休日には友人と心安らぐ空間で交流し、充実した日々を過ごしている

場所: 全域
環境: 公衆トイレ
状態: 日常・非日常(イベント)時に困らないパブリックトイレ

場所: 旧ハロワ・はぐくみ跡地
環境: 駐車場を活用した広場
状態: 常に利用できる・立入れる直ぐに人が集まれる・憩える

場所: 旧ハロワ・はぐくみ跡地
環境: シェアスペースがある建物
状態: 仕事仲間と交流。友人と集うなど空施設が交流の場となる

場所: 大県本郷線(アンダーパス道路) 柏原駅西口ロータリー広場
環境: 道路・歩道の占用
認可が下りやすい、使いやすい
状態: フリーマーケットが開催
照明ポールに注染など装飾
音楽があふれ・聞こえる

場所: 古民家
環境: リノベーションされ、一般に開放された古民家
状態: どんな人でも集え、交流できるくつろげる空間

場所: みずほ保育園前の駐車場跡地
環境: 椅子・テーブル
状態: 広い敷地

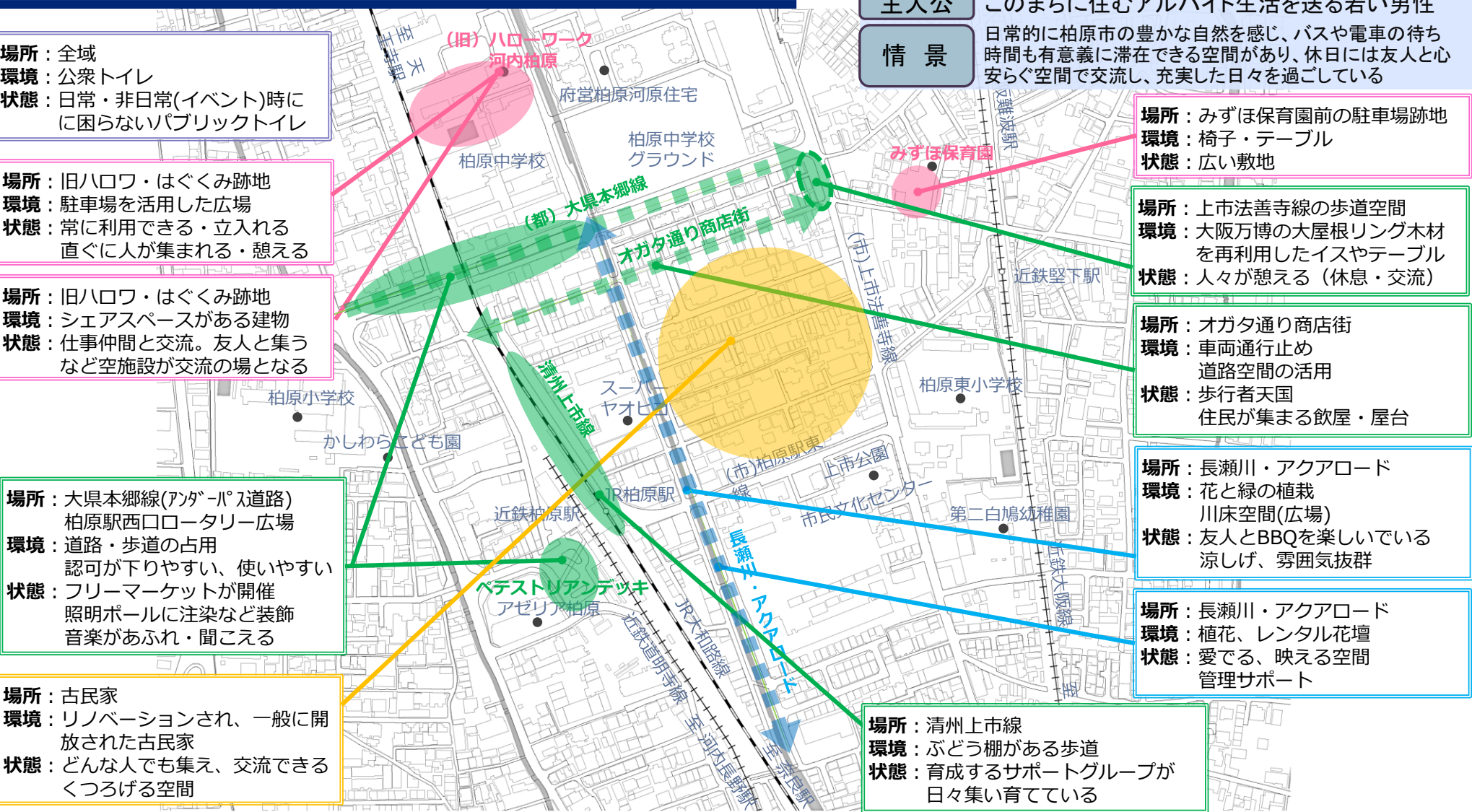
場所: 上市法善寺線の歩道空間
環境: 大阪万博の大屋根リング木材を再利用したイスやテーブル
状態: 人々が憩える(休息・交流)

場所: オガタ通り商店街
環境: 車両通行止め
道路空間の活用
状態: 歩行者天国
住民が集まる飲屋・屋台

場所: 長瀬川・アクアロード
環境: 花と緑の植栽
川床空間(広場)
状態: 友人とBBQを楽しんでいる
涼しげ、雰囲気抜群

場所: 長瀬川・アクアロード
環境: 植花、レンタル花壇
状態: 愛でる、映える空間
管理サポート

場所: 清州上市線
環境: ぶどう棚がある歩道
状態: 育成するサポートグループが日々集い育てている



第3回まちづくりワークショップのまとめ

B team 理想の暮らしができるまち(環境)

場所: 旧ハロワ・はぐくみ跡地
環境: ぶどう棚がある駐車場兼広場、掲示板、チラシラックの設置だれでも使えるコピー機、工具がある建物
状態: 様々な活動のサテライト拠点自動車、歩行者共に訪れやすい

場所: 柏原中学校グラウンド
環境: パブリック・コモンスペース化
状態: 家族が週末集まる場所、素敵でおしゃれな空間

場所: オガタ通り商店街
環境: 車両通行止め、駐輪スペース
状態: 歩行者天国

場所: 全域
環境: 公衆トイレ、屋根、イス・テーブル
状態: 日常・非日常(イベント)時に困らないパブリックトイレクリーンで安全

場所: 歩道空間
環境: 交差点滞留空間
状態: 交差点の滞留場所歩道の使用・占用がしやすい
状態: イベント時に活用され賑わいあふれる空間が創出

場所: 学校グラウンド、上市公園
環境: 長瀬川・アクアロードの公共空間
状態: 催しが開催される、しやすい
状態: 毎週末所々でイベントが開催され、連鎖的に相乗効果生まれ、歩きたくなる

場所: 柏原駅
環境: 情報が集約される掲示板総合案内所
状態: 困ったらここに来れば解決駅周辺事情が丸分かり

理想の暮らし 公共空間や公共サービスが繋がりがやすいまち

主人公 家族に高齢者や障害をもつ人やサポートする人
情景 公共サービスをあちこちに受けに行くのでなく、足回りの良い所にワンストップで公共サービスと繋がる穏やかなスペース。ピアサポートなど交流の場がある。

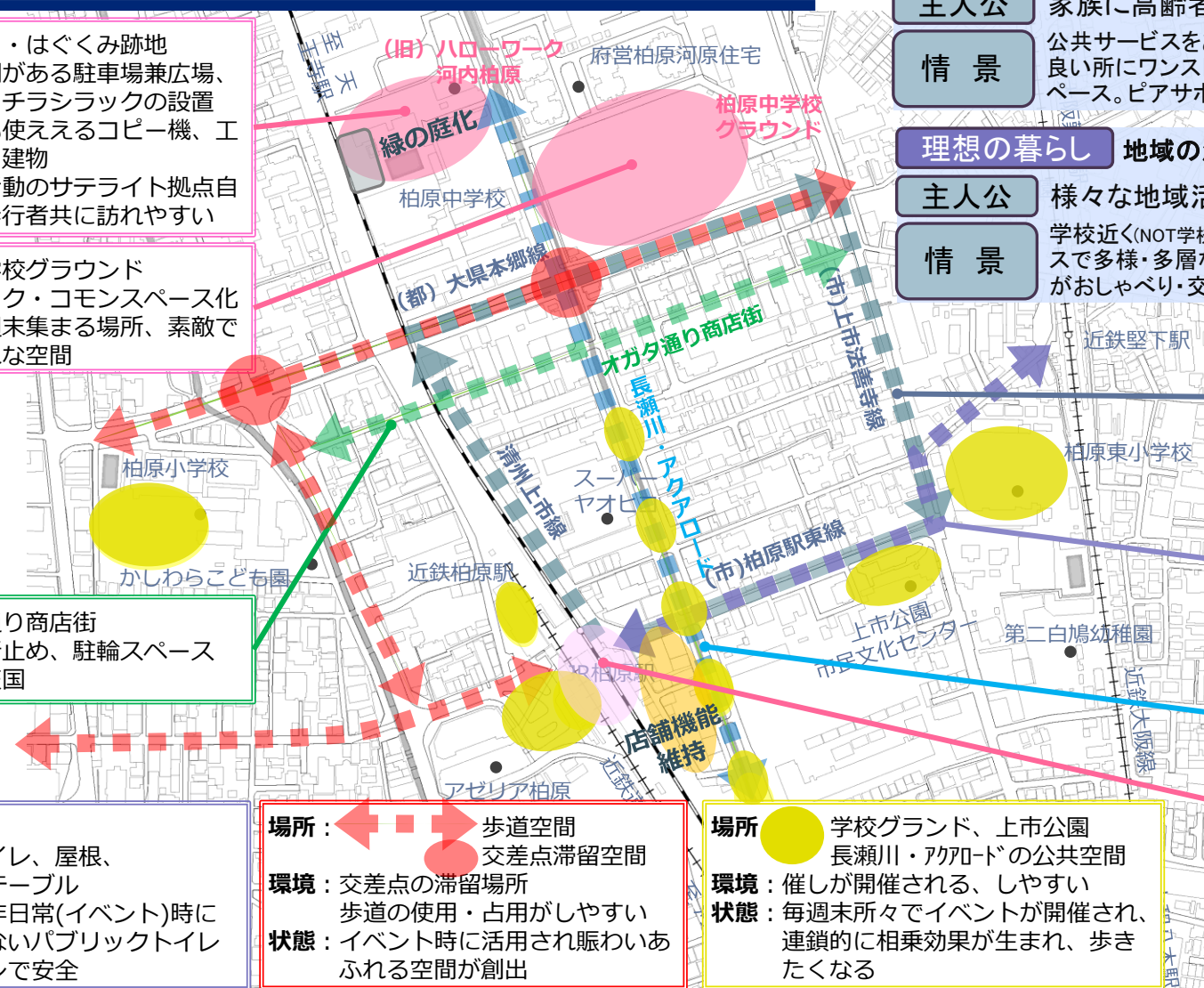
理想の暮らし 地域の活動や行政情報がすぐわかり交流できる

主人公 様々な地域活動を知り人々と繋がっていききたい人
情景 学校近く(NOT学校)or図書館近くの顧問な建物&屋外スペースで多様・多層な活動の情報が張りだされたり、普段から人がおしゃべり・交流してコミュニティが作りだされている。

場所: 大県本郷線・上市法善寺線
 柏原駅東線・清州上市線
環境: 自動車道的一方通行化
状態: 歩者分離、歩道空間が拡大されバリアフリーで歩きたくなる

場所: 堅下駅と柏原駅間の歩道
環境: 車は一方通行化(一車線)
状態: 歩者分離、歩道空間が拡大されバリアフリーで歩きたくなる

場所: 長瀬川・アクアロード
環境: 駅からの歩きたくなる歩道空間
状態: バリアフリー化され、安心・全然に通行でき、景色を楽しめる



第3回まちづくりワークショップのまとめ

C team 理想の暮らしができるまち(環境)

理想の暮らし まちなかで至る所にコミュニティのベンチ

主人公 市内の中学生(帰宅部)

情景 学生なのでお金はないが、放課後に友人と談笑できる場所に通っている。最近、新しい人々と繋がりコミュニティの幅が広がった。

理想の暮らし 便利でおしゃれでキラキラしたまち

主人公 子育てのために東京から柏原に帰郷したママ

情景 学生頃と激変したまちに感動！駅前はおしゃれな空間で、若い子もたくさん集まっている。JRと近鉄は雨でも歩きやすい空間が形成、公園は子供を安心して遊ばすことができる。

場所: 柏原東小学校
環境: 学校の統合→柏原中学校へ
状態: 教育施設の集約、跡地活用でにぎわいが生まれている広場

場所: 柏原東小学校の跡地
環境: 人工芝・広場、カマドベンチ
状態: シェアキッチン、宿泊所、飲食店
状態: 子育て・教育の拠点
 休日は家族で団らんでできる場所

場所: 上市公園
環境: 図書館が移転、公園機能が充実、ベンチ・テーブル、照明、電源、飲食スペース、芝生広場
状態: 昼は小さい子が遊んでいる
 夜はビアガーデン等大人が集まる
 常に賑やかな空間

場所: 柏原駅東口前
環境: ロータリー設置
状態: 歩者分離がされた、適切な規模のロータリーがあり、安全・便利

場所: 旧ハロワ・はぐくみ跡地
環境: 古い建物を解体、図書館移転
 建物内にカフェが併設
状態: 図書館が学校近くに移転され静かな教育ゾーンを形成
 市民が自由に使えるオープンスペースがある

場所: 大県本郷線
環境: かまどベンチ、無電柱化、防災広場、電源、水栓
状態: 災害時のライフラインを確保
 トレーラートイレも横づけできる

場所: オガタ通り商店街
環境: 商店街機能が柏原駅東線へ機能移転
状態: 旧商店街として裏の観光スポットとなっている

場所: 柏原駅東・西口前広場
環境: 人工芝、ベンチ、キッチンカーが入れるようなスペース・広場
状態: イベントが日常的に開催され、人々が集まり、賑やか

理想の暮らし 公共施設の利用と移動が便利なまち

主人公 柏原市民(ラジオネーム: 大阪のゆきりん)

情景 公園等の広場が至る所にあり、緑を感じベンチでくつろげる子どもから高齢者まで、誰でも柏原市内どの地域にでも電車やバス等の公共交通手段を使って好きな時間に移動可能

